

第33回高知県がん対策推進協議会 要旨

1. 開催通知 令和3年3月17日(水)
2. 場 所 書面審査
3. 参加者 協議会委員 19名
4. 議 題
 - (1) 第3期 高知県がん対策推進計画の進捗状況について
 - (2) 令和2年度 医療機関がん診療体制調査について
 - (3) 令和元年度 患者満足度等調査について
 - (4) 高知県在宅緩和ケア事業の見直しについて
 - (5) 幡多けんみん病院の地域がん診療連携拠点病院の指定類型変更について
 - (6) 令和3年度 妊よう性温存治療費補助金について

5. 概 要

令和3年3月17日に各委員に協議会資料を送付し、令和3年3月30日までに全員から了承する旨の回答を得た。

また、以下のご意見があった。

- ①色々の企画がCOVID-19のために中止となり、仕方がないことではあるが、残念。
オンラインで可能なものはできるだけ実施して、施策を前進させるように頑張りたいものである。在宅緩和ケア推進事業は終了したが、在宅での緩和ケアが定着してきた。在宅療養ハンドブックは現在でもとても役立っているのので、引き続き、改訂・発行をお願いしたい。
- ②資料1の計画の「小児・AYA世代のがん対策の取り組み状況」について、オーテピアこうち図書館にて妊よう性温存治療に関するパネル展示を行ったとあったが、患者会等への周知はあったのか。せっかく行うのなら、関係者にも周知していただきたい。
- ③「患者満足度等調査」について、質問項目全体を読んだ時、小児がん患者が回答しづらいのではと感じた。例として、問36、37に就労だけでなく、「就学」等の文言が入れば、回答しやすくなるのではないかと。
- ④高知県在宅緩和ケア事業は終了しても在宅医療の中で在宅緩和ケアが実施されていて、多職種カンファレンスも行われていると思う。高知大学医学部附属病院が開催する協議会に、この情報を上げていただくと県内で行われている活動を知ることができると思う。

ご意見には下記のとおり対応することとします。

- ①については、施策を中止するのではなく、オンラインを活用するなど、できる限り、実施するよう努めます。また、在宅療養ハンドブックは引き続き、改訂・発行していきます。
- ②については、周知が不十分であったため、来年度は患者会等への周知を徹底します。
- ③については、来年度の調査項目に反映することとします。調査項目については、改めて協議会にてお諮りいたします。
- ④については、在宅緩和ケアの情報の収集と共有について、高知大学医学部附属病院へ相談し、検討します。